

東証一部（証券コード 6848）

個人投資家様向け 会社説明会

東亜ディーケーケー株式会社
代表取締役社長 高橋 俊夫

2019年2月6日

1. 会社概要
2. 主要製品
3. 重点施策・株主還元等

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

経営理念

『誠実・創造・挑戦』をモットーに地球環境保全と豊かで人にやさしい社会環境の実現に貢献します。

設立

1944年9月

資本金

18億4,248万1千円

連結売上高

156億円
(2017年度通期)

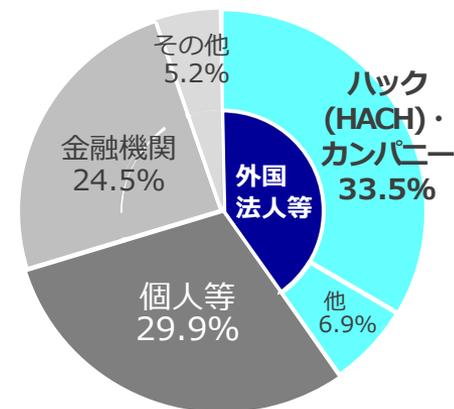
従業員数

連結634名
(2018年9月末現在)

連結子会社

国内6社
(主に製造とサービス)

株主構成



(2018年9月末現在)

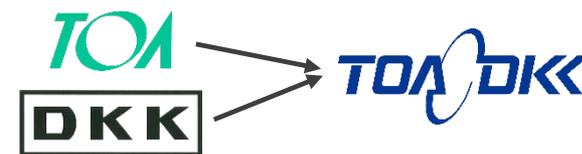
事業内容

計測機器事業および不動産賃貸事業

- 分析機器、工業用計測器、環境計測器の製造、販売
- 医療関連機器の製造、販売
- 計測機器の部品・消耗品の販売
- 計測機器のメンテナンス・修理
- 不動産賃貸事業

略歴

- 2000年 東亜電波工業と電気化学計器が合併し、東亜ディーケーケー 誕生
- 2005年 米国HACH（ハック）と業務・資本提携
- 2013年 東証第一部指定銘柄
- 2014年 創立70周年



事業領域の拡大

社会のニーズに 技術で応え続けて70余年

大気

- 1963年 日本初「窒素酸化物自動測定装置」



水

- 1954年 卓上型pH計 HM-5(A) 平成26年「分析機器・科学機器遺産」に認定

- 1969年 大気中オキシダント計

- 1970年 日本初「河川水質監視装置」（淀川と多摩川に設置）



医療 関連

- 1979年 臨床検査機器

ガス

- 2005年 バイオニクス機器(株)子会社化

- 2002年 全窒素・全りん/COD自動測定装置（第5次総量規制に対応）

- 2003年 A4サイズの小型水道水用水質自動測定装置（東京都多摩地区に設置）



- 2010年 PM2.5測定装置

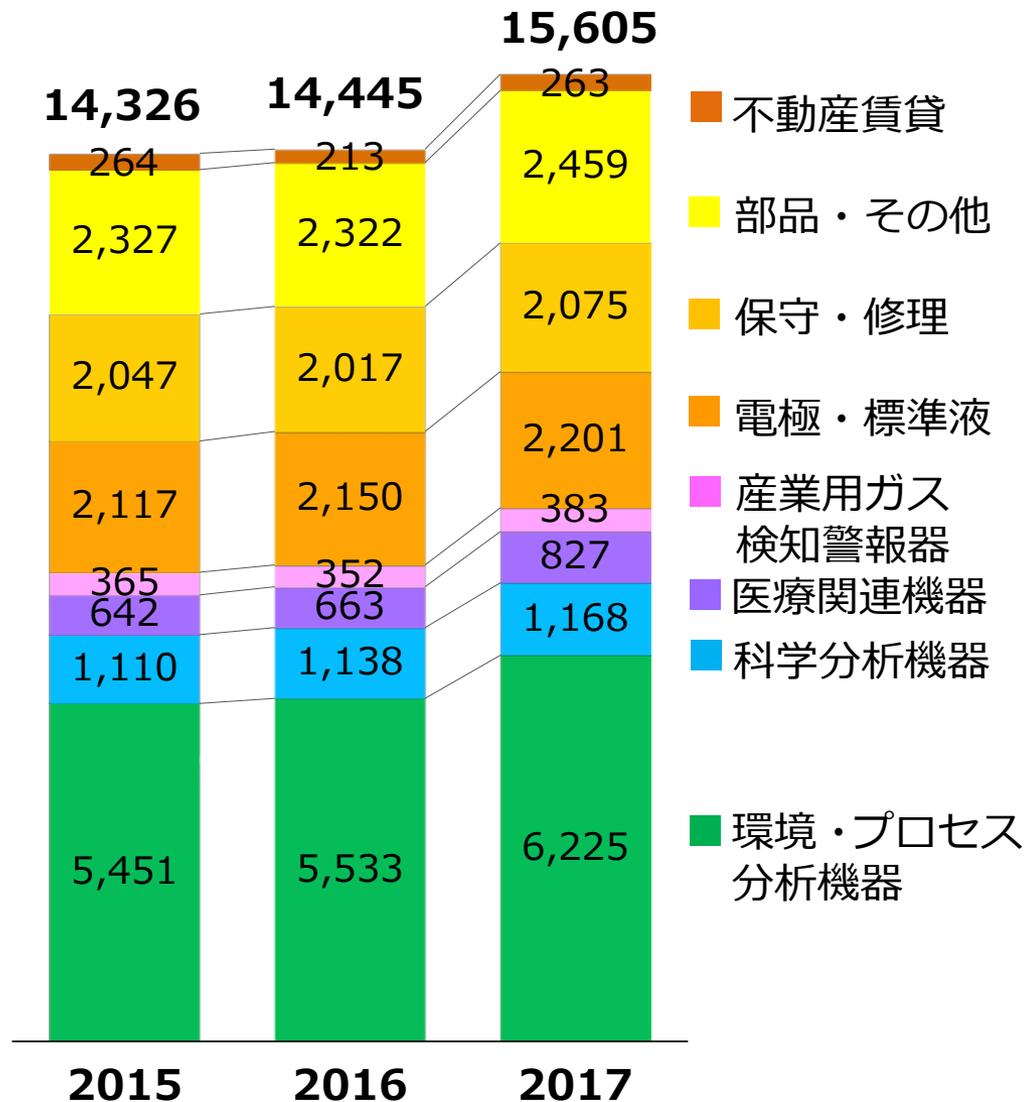
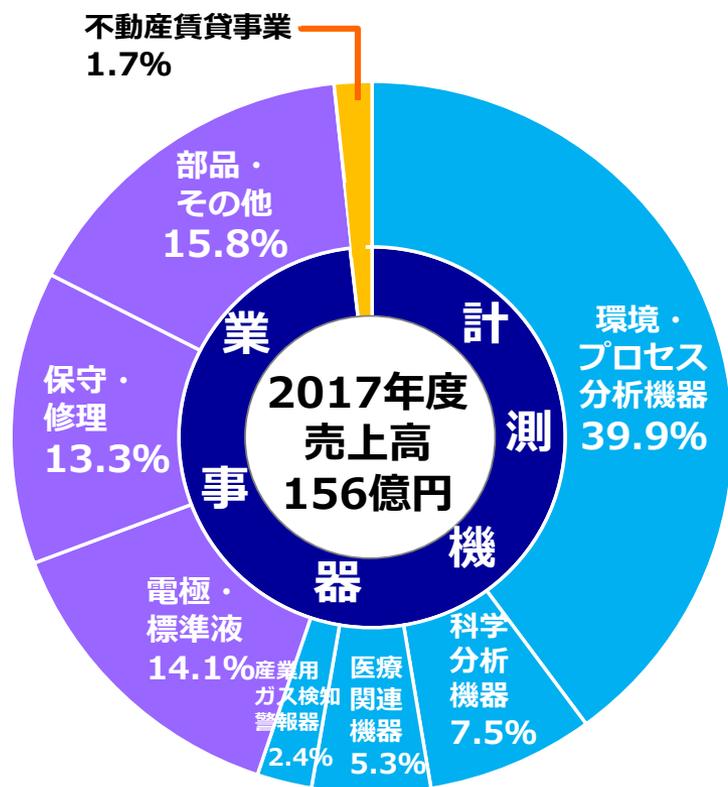
営業拠点：13か所 代理店・特約店：89社（222拠点）

※2018年12月時点

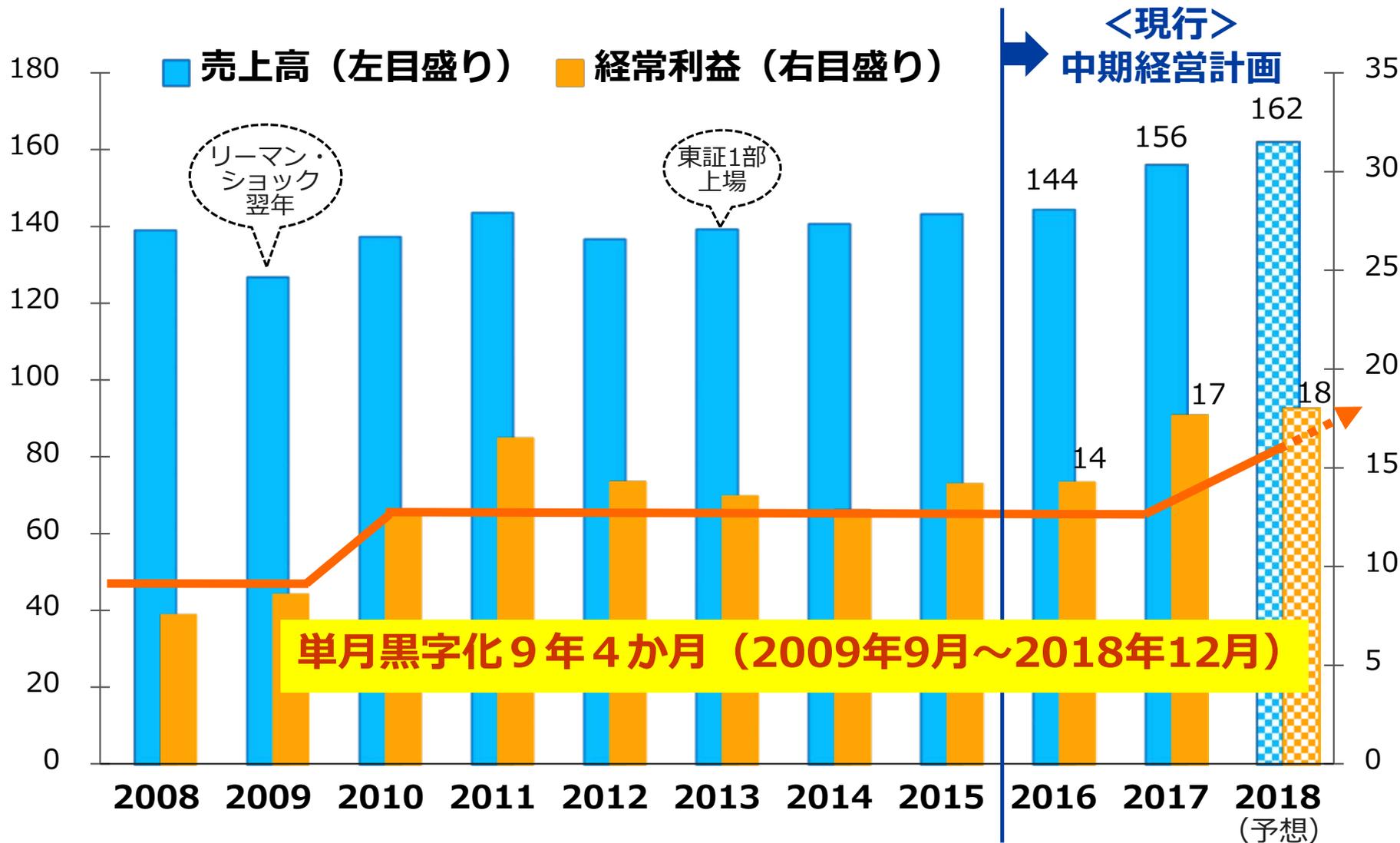
- 本社
- 支社・営業所・事務所
- 事業所
- サービスセンター
- ▲ 関連サービス会社
- ◆ 連結子会社



(単位:百万円)

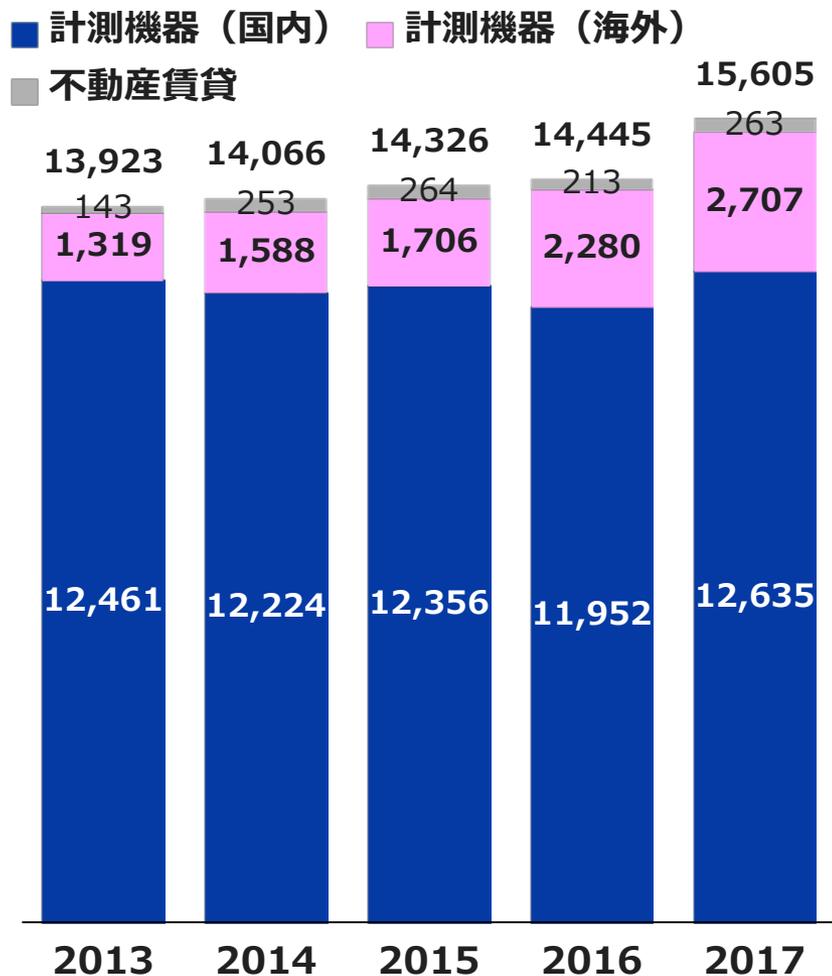


(単位：億円)

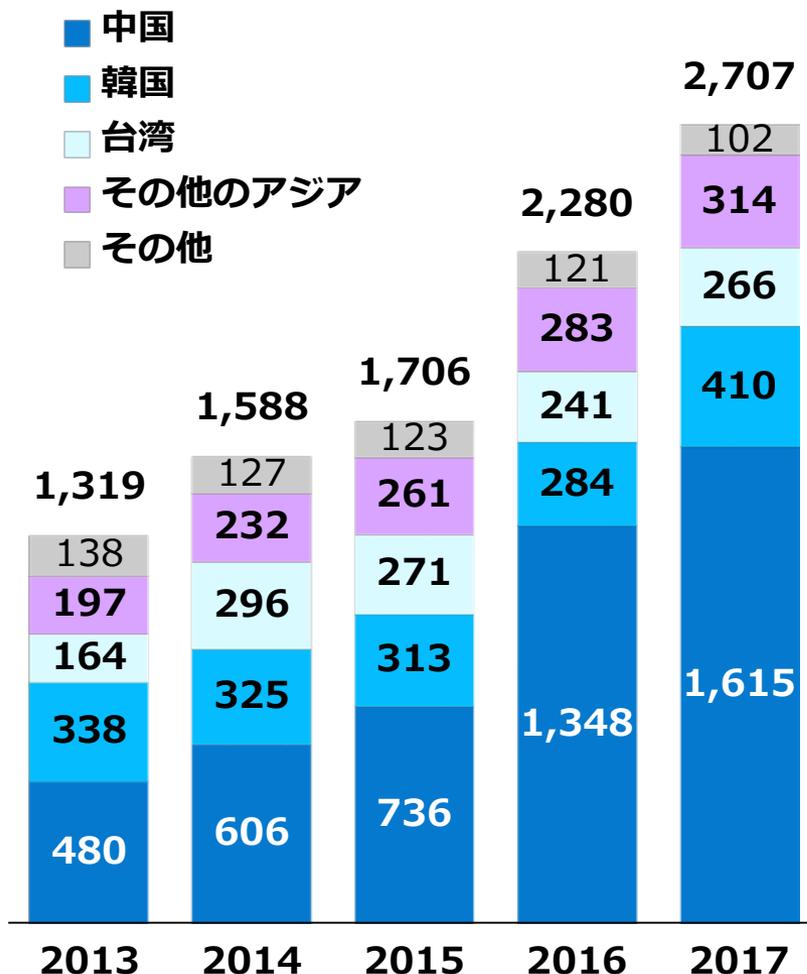


(単位:百万円)

国内外の売上高



海外の国別売上高



《現行》

第2次HYBRID経営計画

成長戦略の基盤構築に 重点を置いた事業展開

- ・ 国内営業力強化
- ・ 医療関連機器事業を4本目の柱に
- ・ 海外代理店の拡充
- ・ 中国向け売上倍増

	2016年度 実績	2017年度 実績	2018年度 予想
売上高	144億円	156億円	162億円
経常利益	14億円	17億円	18億円
ROE	<u>9.4%</u>	8.5%	8.5%

特別利益を除くと7.6%

《次期》

中期経営計画

成長への 新たな布石

策定中



若手社員のプロジェクトチームで
10年後の目指す姿を策定（夢プラン）

1. 会社概要

2. 主要製品

3. 重点施策・株主還元等

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

当社の強み

- 創立以来のpH計、電気伝導率計などの保有技術は幅広い用途に対応
- 官公庁から幅広い業種の企業とお取引
- 開発・製造・販売からアフターサービス（保守・修理）までの一貫体制

水

環境・プロセス分析機器



水道水用水質
自動測定装置

全窒素
全りん計



pH計変換器



電気伝導率計



油膜検知器

大気



PM2.5
測定装置
国内シェア
NO.1

大気SO₂
SPM測定
装置



ガス

産業用ガス 検知警報器



医療

医療関連機器



透析用粉末
用剤溶解装置



NEW
エンドト
キシン計

科学分析機器

ラボ用
水質計



ポータブル用
水質計





工場
食品・化学・石油
精製関連施設等の
生産・品質管理
プロセスに導入

インフラ
浄水場や火力発電所
での水質管理に導入

河川・海
工場排水等による
水質汚濁を常時監視

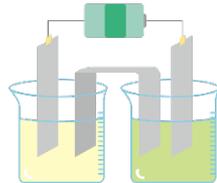
家庭
水道水の水質
を常時監視

pH計変換器

- ・ pH計
- ・ 濁度計
- ・ 残留塩素計

全窒素・全りん/
COD自動測定器

Hit商品!
水道水用水質
自動測定装置
停電時は72時間対応



ラボ用分析機器

- ☞ 卓上型、簡単操作、高精度な測定
- ☞ 大学や試験研究機関での化学分析や生産ラインの品質管理など様々な分野での水質分析に使用

ポータブル分析計

- ☞ 小型・軽量・省電力・防水設計
- ☞ 製造工程の水質管理や排水の監視、川・湖での環境監視のため、現場での簡易測定に使用



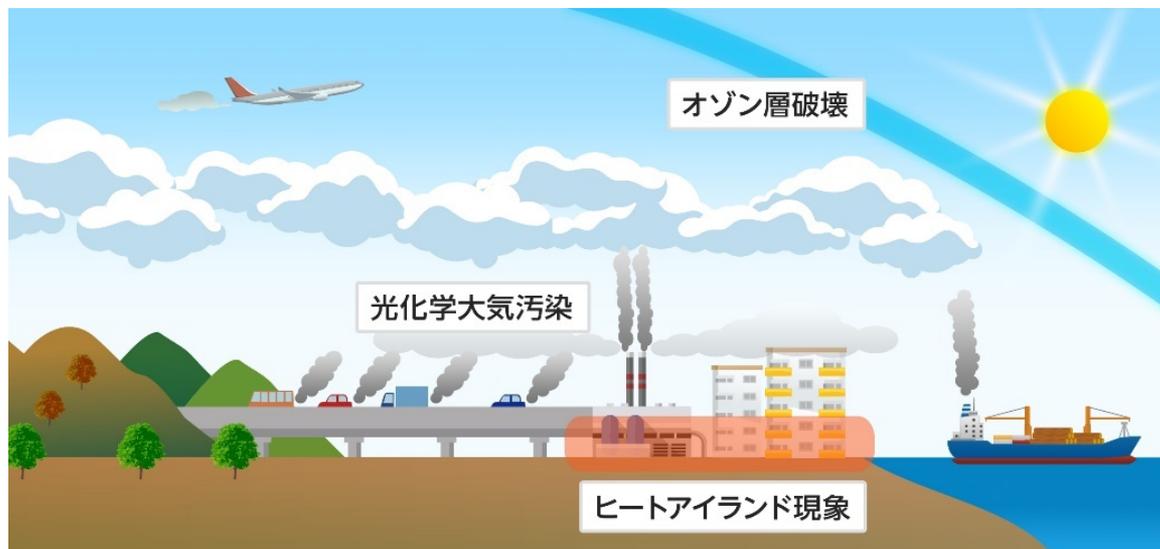
マルチ水質計
(Xシリーズ)



水質計



蛍光式溶存酸素計
(HACH製)



環境大気移動測定車



NO.1
国内シェア
約60%

PM_{2.5}
測定装置

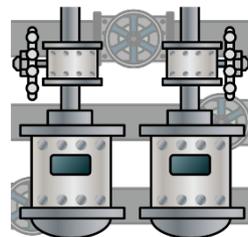


大気SO₂SPM
測定装置



排ガス分析計

ごみ焼却施設や各種工場からの排ガスに含まれる大気汚染物質濃度を測定



ガス検知警報器

半導体工場など製造工程で使用する危険なガスの漏洩を検知し警報

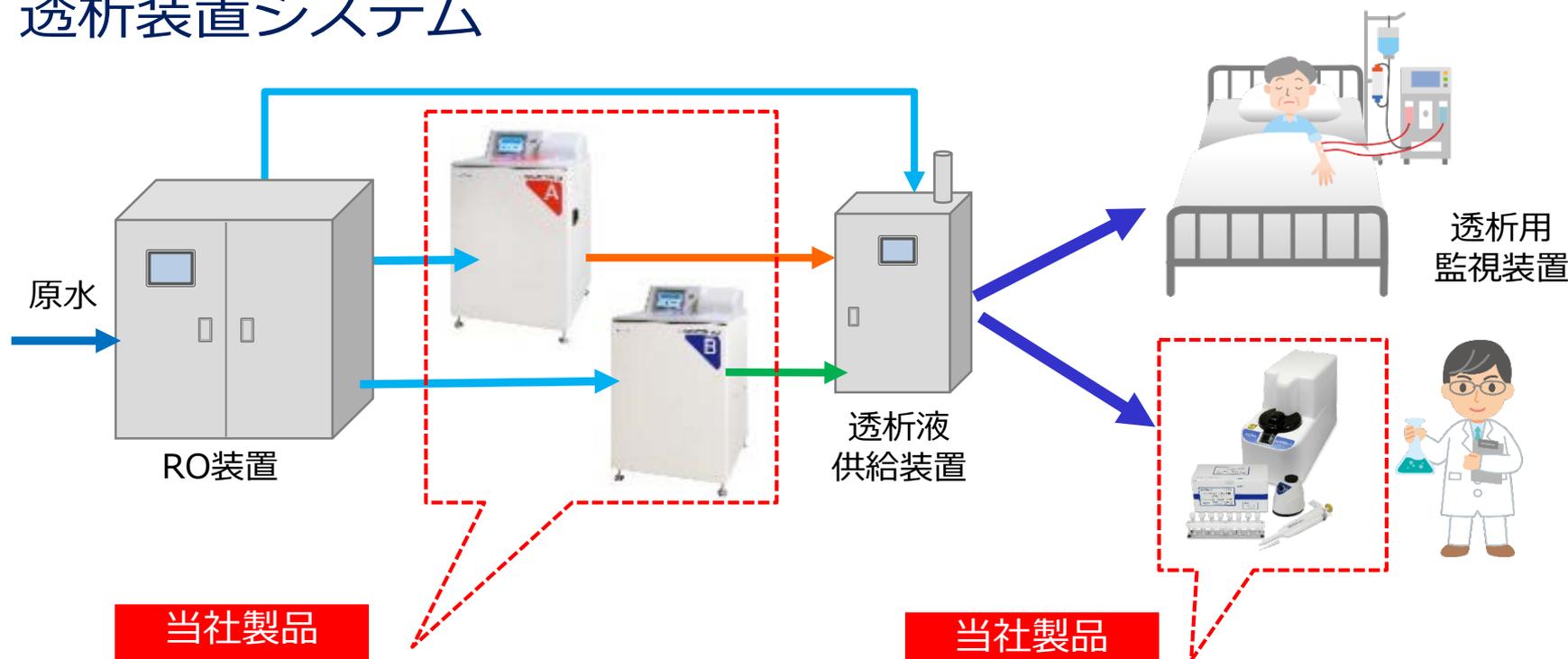


排ガス測定装置



毒性ガス検知警報器

透析装置システム



当社製品

透析用粉末用剤溶解装置
(A剤・B剤溶解装置)

センサ技術で粉末剤を一定濃度
に溶解し、透析原液を安定供給

最大70床までの供給が可能

当社製品

NEW エンドトキシン計
「ルミニッツ-ET」

透析液及び透析用水を管理する
測定器

1. 会社概要

2. 主要製品

3. 重点施策・株主還元等

注記がない限り、本資料に記載された財務数値及び業績予想は、原則として連結ベースで記載しております。本資料の金額は単位未満切捨で表示しております。これにより、合計が合わない場合があります。比率は小数点第1位未満四捨五入で表示しております。

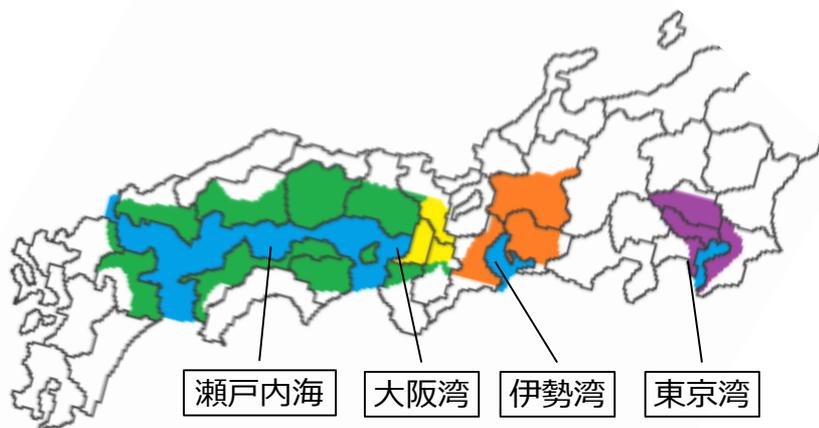
第5次水質総量規制*の更新需要に対応

*閉鎖海域で排出される有機汚濁物質の総量を規制する制度。

第5次水質総量規制では、従来のCOD（化学的酸素要求量）に加え、新たに窒素・りんが規制の対象となった。

適用日：2002年10月1日、 目標年度：2004年度

水質総量規制の指定水域および指定地域



主な環境用水質分析計



全窒素・全りん/
COD自動測定器



有機汚濁
モニターUV計



負荷量演算器



簡易全窒素・
全りん測定セット

水道事業の広域化・民間委託化に向けた デジタル通信対応

- サービス委託会社と共同で、IoTを使った遠隔監視、リモートメンテナンスが可能な水質計を品揃え



2018年4月にメタウォーター株式会社から 水道用水質計を事業譲受

☞ 水道事業の広域化に対応し、製品ラインナップ拡充

既存の水道水用
分析計（例）



濁度計



無試薬式遊離
塩素計



譲り受けた分析計 5 機種



ハイブリッド形
微粒子カウンタ



卓上型
ハイブリッド
微粒子計



トリハロ
メタン計



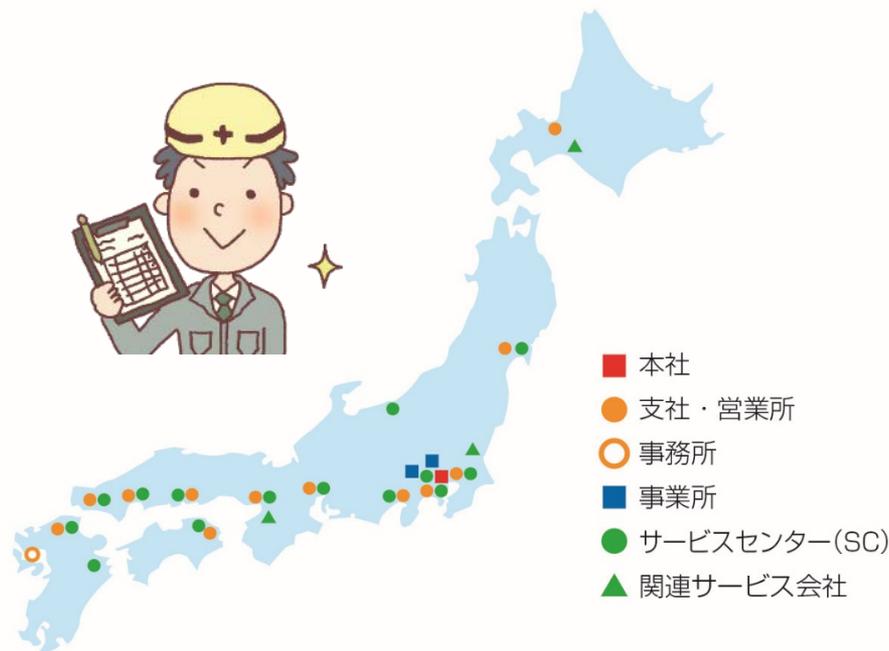
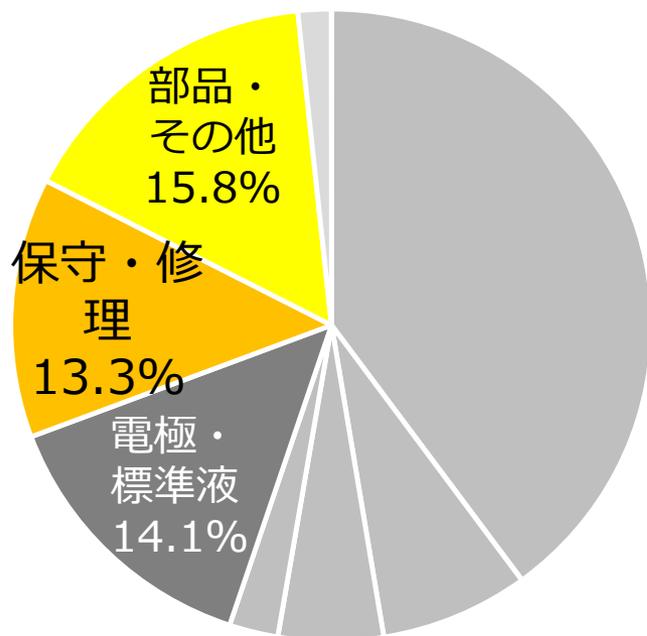
高感度濁度計



水質安全
モニタ

アフターサービス事業の拡大

- ☞ 水道管理事業の民間委託化に伴う保守・点検などのニーズ増加に対応
- ☞ 定期点検の実施率向上、長期保守契約の獲得



人工腎臓用粉末型透析用剤溶解装置の増産

👉 国内大手医療機器メーカー採用で増産し安定供給



透析用粉末用剤
溶解装置



医療関連機器生産棟
(2017年10月稼動)



製造フロア



生化学実験室など
開発設備も完備



水

水質汚染防止法（2017年6月改正）により水質汚染物
排出オンラインモニタリングシステムの設置義務付け

深刻な水質汚染に対する規制強化に HACH CHINAと共同で拡販

現在の需要

全窒素・全りん/
COD自動測定器



特需に増産対応し、
売上大幅増進

販売強化

重金属自動測定装置



5機種をHACHと
共同開発し、
中国で販売中
（六価クロム、
全クロム、銅、
ニッケル、
マンガンを測定）



大気 PM2.5の生成物質VOC*の排出規制規格決定 提携した中国2社と協業で受注活動中

(北京牡丹、重慶SIC)

*VOC(Volatile Organic Compounds)
揮発性有機化合物



提携会社との
技術連携を推進

重慶SIC社の技術
者を山形東亜DKK
に招き研修



中国各地で
当社製品の
ブランド力向上

日中VOC測定
技術交流会
(山東省)



日中国家レベルの
環境技術協力を
強化

第一回日中第三国
市場協力フォーラム
2018年10月 北京



中国環境保護部
へのアピール

中国環境監測
總站ご一行の
当社視察

東南アジア、インド、中東を中心に海外代理店の 拡充と巡回技術サービスによる販売強化

当社海外代理店は
16カ国30社
(欧米含む)

中東

淡水化プラントや
発電所における
更新やメンテナンス

インド

人口増加と工業化により
環境整備が急務

東南アジア

● 代理店所在地

アジアの大規模展示会に出展

インド



India Lab
Expo 2017



CEM India
2017

韓国



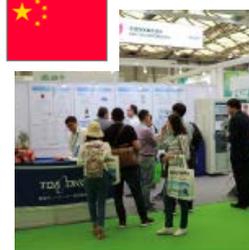
ENVEX
2017

UAE



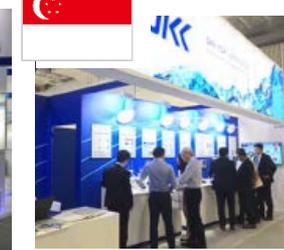
ARABLAB
2018

中国



IE EXPO
2018

シンガポール



SIWW
2018

海外技術研修生の受け入れ



アジア大気汚染研センター(ACAP)
「大気観測技術コース」

参加国：コロンビア、中国、インドネシア、
ラオス、モンゴル、ミャンマー



JICA／北九州国際技術協力協会 (KITA)
「水環境行政コース」

参加国：エジプト、スリランカ、ベトナム、
モロッコ





環境・CSRレポート (毎年6月発行)

環境

東北地域カーボン・オフセット グランプリで支援賞を受賞

(2018年1月)



健康

平成30年度東京都スポーツ 推進企業とスポーツエール カンパニーに認定

(2018年12月)



ダイバーシティ

女性活躍推進法に基づく 優良企業として

「えるぼし」 最高位に認定

(2018年3月)



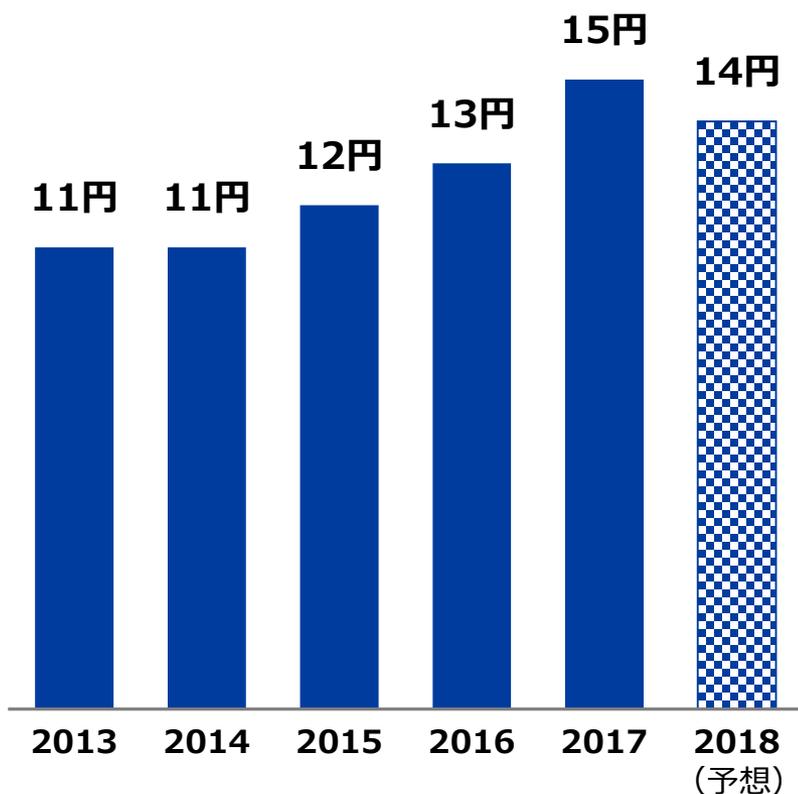
地域貢献

高田馬場駅周辺地区の ポイ捨て防止・路上喫煙 禁止キャンペーンに参加



将来の事業展開への内部留保を勘案し、 業績に応じ安定的な配当を継続

一株当たり配当金推移



株主優待

毎年9月末現在の株主名簿に記載された株主様に、「緑の募金」付クオカードを贈呈



所有株式数	優待内容
100株以上500株未満	寄付金付クオカード500円分
500株以上1,000株未満	寄付金付クオカード1,000円分
1,000株以上	寄付金付クオカード2,000円分

株価	単元株式数	必要投資金額	市場
742円 (2019年1月末現在)	100株	約8万円	東証1部



証券コード

6 8 4 8

$$6 \times 8 = 48$$

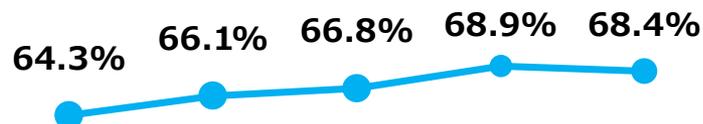
ご清聴ありがとうございました。

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
5. 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、皆様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜お問い合わせ＞

東亜ディーケーケー株式会社
経営戦略部 経営企画課
電話：03-3202-0242
メール：ir@toadkk.co.jp

自己資本比率



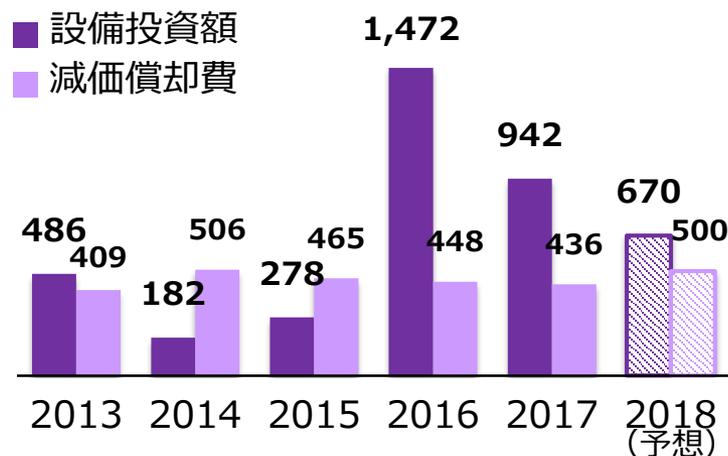
2013 2014 2015 2016 2017

ROE



2013 2014 2015 2016 2017

設備投資額と減価償却費



フリーキャッシュフロー

